

取扱説明書(一輪車編)《品質保証書付》

このたびは当社の製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。



取扱説明書および品質保証書について

- お求めになった一輪車に当てはまらない説明内容も含まれていますので、ご容赦ください。
- 品質保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、お店からお受け取りください。
- 本書を読み終えた後は、大切に保管し、必要に応じてご活用ください。

保護者の方へ

！ 警 告

- 一輪車は自転車ではありません。道路では絶対に乗らないでください。
- お子様が一輪車を使う前に保護者の方が本書を必ず読んで、正しい乗り方と、危険なこと・してはいけないことをよく指導してください。

警告表示

警告表示は危険度・重要度の程度に応じて次の区分で表示しています。これらを守らないと事故につながったり、ケガをしたり、一輪車がこわれるなどのおそれがあります。

表示の意味



警告

この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「傷害を負ったり、物的損害を負う可能性が想定される」内容です。



禁止

この表示の欄は、「安全上してはいけない危険行為および保証範囲外の行為を表す」内容です。



強制

この表示の欄は、「使用者に必ず実行していただく」内容です。



警告

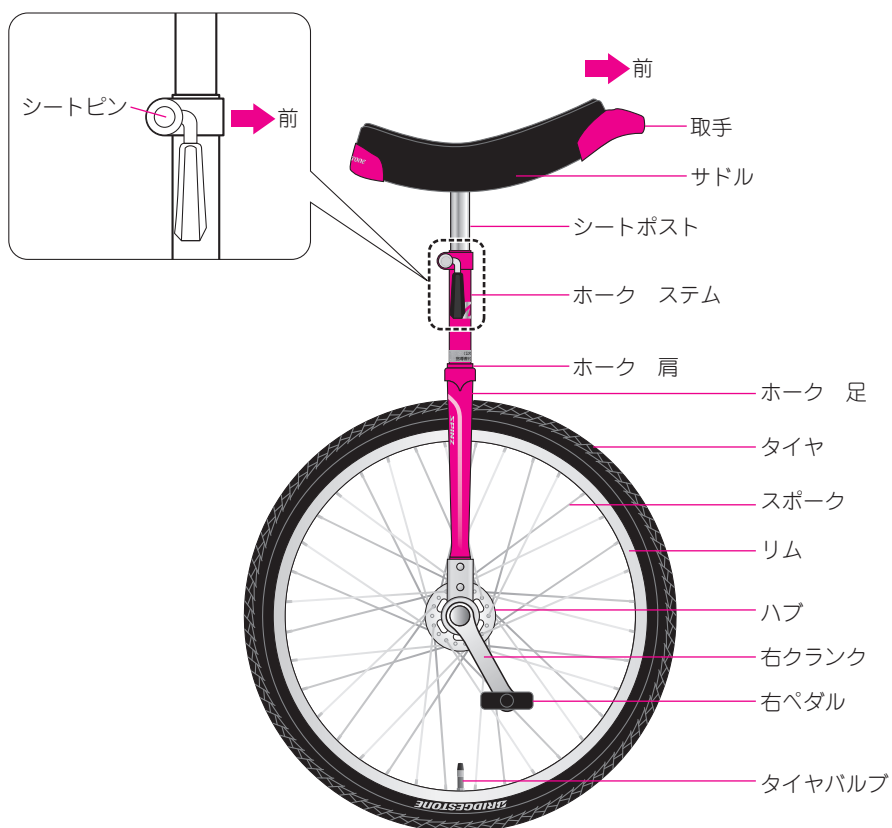
- 安全快適にご使用いただくために、必ずこの「取扱説明書」と「品質保証書」をよく読み、理解してからお使いください。
- まちがった取り扱いや調整は事故につながる危険があります。警告、禁止、注意、強制事項を必ず守ってください。
- 乗るまえの「日常点検」と、お店にお願いする「初回点検・定期点検」を必ず実施してください。
- 故障、修理などで部品の交換が必要な場合は、必ず当社純正部品を使用してください。
- この一輪車を他人に譲るときには、この「取扱説明書」をいっしょにお渡しください。
- 取り扱い方がわからないときは、お買い求めのお店にご相談ください。

もくじ

警告表示	2	お手入れと保管	11
各部のなまえ	3	その他	12
正しい使用条件	3	乗りかた	13
安全上のご注意	4	点検・調整チェックリスト	16
点検方法	6	(公社)日本一輪車協会	17
乗る前の調整方法	9	品質保証書	18

各部のなまえ

一輪車の図は代表例です。



正しい使用条件

適正乗車身長目安

車輪の径 (インチ)	身長範囲 (cm)
16	110~140
20	130~160
24	155~185

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、財産の損害と一輪車がこわれることを未然に防止するために、必ずお守りください。

⚠ 警告 (危険です、乗る前に必ず点検してください！ 異常を発見したら使用しないでください！)

ホークやクランク、ペダルなどの部品に変形やヒビ割れはないか

走行中にこわれて事故・けがをおこすおそれがあり危険です。

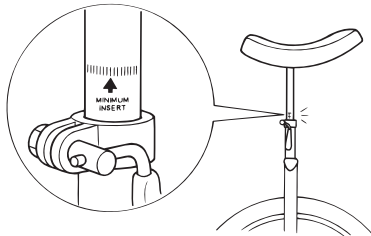
車輪の固定は十分か

(点検方法 ■ P.7)

走行中に外れて事故・けがをおこすおそれがあり危険です。

サドルのポストは限界標識がくれるまで差し込まれているか

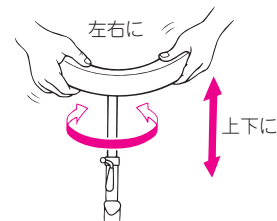
(点検方法 ■ P.6)



サドル(ポスト)の折れや抜けにより事故・けがのおそれがあります。

サドルの固定は十分か

(点検方法 ■ P.6)



操縦できなくなり、事故・けがのおそれがあります。

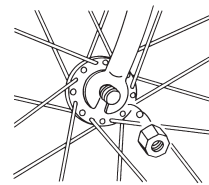
タイヤの空気圧は十分か

(点検方法 ■ P.7, P.10)

パンクしやすく、タイヤの摩耗が早くなります。

ネジがゆるんでいるところはないか

(点検方法 ■ P.7)



ゆるんでいるところがこわれて事故・けがのおそれがあります。

サドルとホークが前後正しく組み付けられているか

(点検方法 ■ P.6)

走行中にペダルが外れて、事故・けがをおこすおそれがあり危険です。

- その他の点検項目は6～8ページをご覧ください。

警告（危険です、必ずお守りください！）

パンクや故障など異常があるときは乗らない



事故・けがのおそれがあります。
異常を発見したら使用せずに、すぐお店にご相談ください。

改造・分解・指定箇所以外の調整はしない



正しく動かずに事故を起こしたり歩行者に危害をおよぼすおそれがあります。

初回点検・定期点検は必ず実施する



長く使っているとネジがゆるんだり調整がズレたりしてきます。必ず実施してください。

引っかかりやすい服装やすべりやすい靴かかとの高い靴などをはいて乗らない



事故・けがのおそれがあります。スポンのすそはセイフティバンドやクリップなどでとめて乗ってください。

正しい取扱方法を守る



間違った取り扱いをすると事故・けがのおそれがあります。

道路では乗らない



自転車ではありません。
事故でけがをしたり、他の人にけがを負わせるおそれがあります。

注意（安全のために必ずお守りください！）

走行するとき



● タイヤに十分空気を入れてから乗る。
（空気圧が低いとはやくタイヤが減り、パンクもしやすくペダリングが重くなります）
（適正な空気圧はP.10をご覧ください）

回転部分には



● スポークの間に物を入れたりはさんだりしない。
（車輪にはさまって転倒してしまいます）

衝突や転倒したときは



● 必ず点検する。
● 異常を発見したら使用せずにお店に相談する。

サビを防止し、長持ちさせるために



● 定期的に手入れをする。
（手入れの仕方はP.11をご覧ください）

一輪車に乗るときは



● 空き地や公園など安全な場所で乗ってください。
（路面がぬれていたり、段差、傾斜のある場所で乗らないでください）

走行目的以外の使用



● 踏み台など走行目的以外に使わない。
（転倒してけがをするおそれがあります）

点検方法

！ 乗るまえの「日常点検」とお店にお願いする「初回点検」「定期点検」を必ず実施してください。

強制

初回点検

- 購入後、2ヶ月以内に点検を受けてください。

初期の内は特にネジがゆるみやすいので、必ずお店で点検を受けてください。

定期点検

- 購入後6ヶ月、12ヶ月以内、その後は1年ごとに点検を受けてください。

安全に長くお使いいただくために必ずお店で定期点検を受けてください。

長い間使用せず、再び使用するときも点検をお受けください。

乗るまえの点検

- 乗るまえに必ず保護者の方が点検し、安全を確かめてから乗ってください。

変形や破損している部分は必ず新品と交換してください。

点検方法

サドル

- カバーの損傷

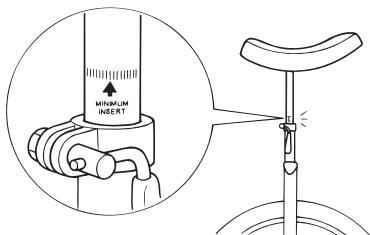
※ 著しい割れやバリがないこと

- サドルの組付

禁止 挿入不足で使用しない。



禁止



※ 限界標識がcaくれるまで差し込まれていること。

※ サドルが車輪中心と合っていること。

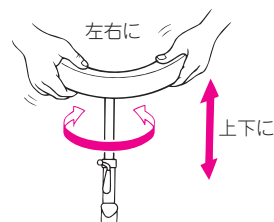
※ サドル前後正しく組み付けられていること。

シートピンが進行方向に対して、後ろ側にくる状態が正しい向きになります。

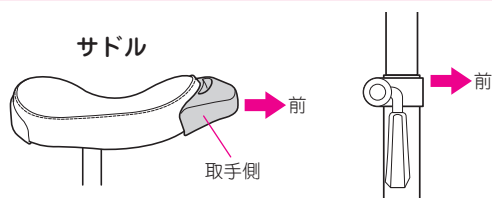
⚠ 注意： サドル前後向きを間違えると、ペダルが緩み脱落するおそれがあります。

- サドルの固定

(車輪を足ではさみサドルの前後を持って動かしてみる)



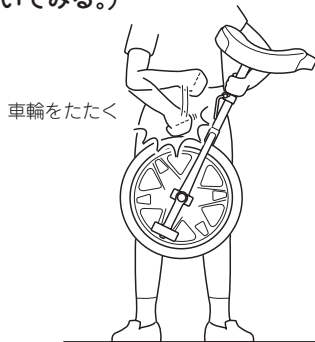
※ 力を入れても回らないこと



車 輪

● 固定

(一輪車を持ち上げて車輪を上から強くたたいてみる。)



※ 車輪がズレたりガタついたりしないこと。

● 振れ・ガタ・回転性

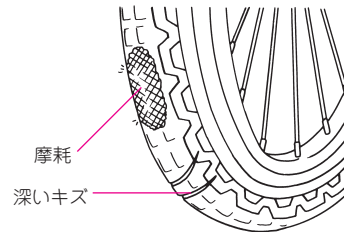
(一輪車を持ち上げて回してみる。)



※ スムーズに回転し大きな振れやガタがないこと。

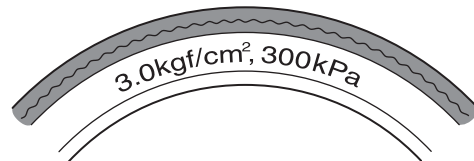
⚠ 警告：ズレやガタがあると、走行中に外れて、事故・けがを起こすおそれがあります。

● タイヤのキズ・摩耗



※ コードが見える深いキズがないこと。
※ 接地面の模様が十分残っていること。

● 空気圧



※ 十分空気が入っていて、タイヤ側面に表示してある推奨空気圧になっていること。
(図の数値は表示の例)
(空気補充のしかた ■ P.10)

⚠ 注意：空気圧が低いと、パンクしやすく、タイヤの摩耗が早くなります。

各部のネジのゆるみ

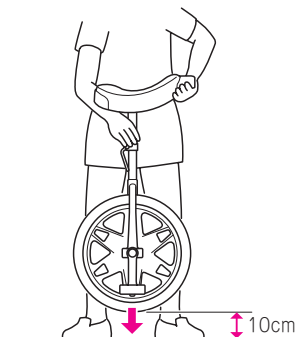
⚠ 警告：ゆるんだまま使用すると、走行中にこわれて、事故・けがのおそれがあります。

● 各部のネジのゆるみ

(10cmほど持ち上げて軽く落とす)

※ 変な音がしないこと。

変な音がしたらネジがゆるんでいるおそれがあります。

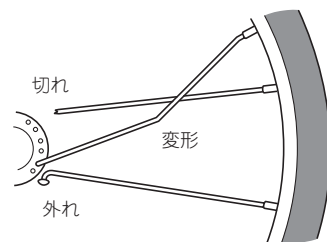


スポーク・ニップル

● スポーク・ニップル

※ 切れ、外れ、変形の無いこと。

⚠ 警告： スポークやニップルの切れ、外れ、変形がある場合は、早急に交換してください。ホイールが変形し、転倒するおそれがあります。スポークやニップルが一本でも切れたまま走行を続けると、他のスポークに大きな負担が繰り返し加わり、スポーク寿命が低下し、スポーク切れが継続して発生する場合があります。スポークは全て交換することをお勧めします。



クランク・ペダル

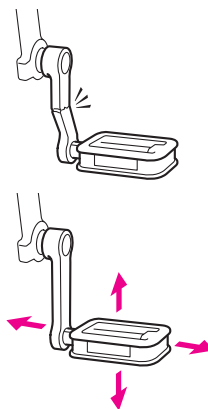
● クランク・ペダル

※ 変形やひび割れがないこと。

⚠ 警告： 変形やひび割れがある場合はすぐに新部品と交換してください。走行中にこわれて、転倒・けがのおそれがあります。

※ ペダルに上下左右に力を加えたときガタがないこと。

⚠ 注意： ガタを放置したまま使用を続けると、部品の外れや、破損にいたるおそれがあります。ガタがある場合はすぐに販売店で調整を受けてください。



乗る前の調整方法

安全を確保するために、各部の調整は注意点を守って確実に行ってください。
これを怠りますと思わぬ事故につながります。ご不明な点がございましたら、お店にご相談ください。また、調整はお子様にはさせないようにしてください。

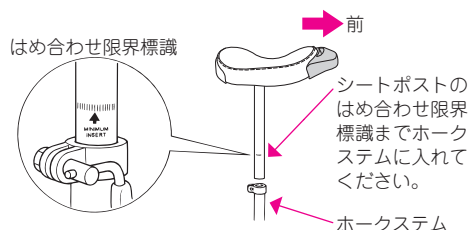
⚠ 注意（安全のために必ずお守りください！）

サドルの調整のしかた

⚠ 警告： ● 調整後は、確実に固定されているか確認してください。固定が不十分であると、運転できなくなり、事故・けがのおそれがあります。

サドルの高さ

⚠ 警告： ● 最も高くした場合でも、シートポストのはめ合わせ限界標識が見えなくなるまで挿入してください。限界標識が見えていると、サドル（シートポスト）の折れや抜けにより事故・けがのおそれがあり危険です。

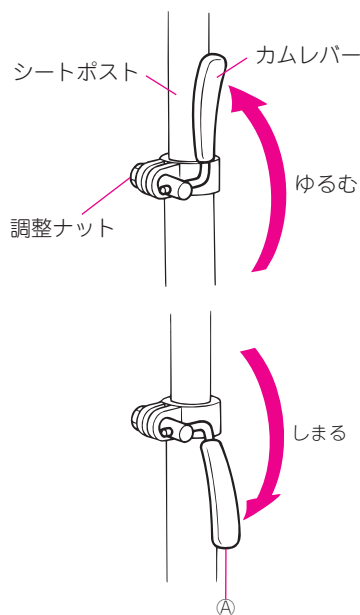


《調整方法》

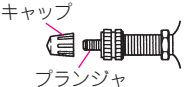
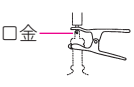
クイックレバー式シートピンの場合

⚠ 注意： クイックレバー式シートピンは、カムレバーを開閉して「締め」「ゆるめ」をおこないます。カムレバーを回して締め付けるものではありません。

- ① カムレバーを「ゆるむ」の方向に開いて固定をゆるめ、サドルを上下に調整してください。
- ② 固定するときは「しめる」の方向のAの位置までカムレバーを閉じて固定します。
- ③ カムレバーを閉じるときの力は、レバー先端に100N (10kgf)～160N (16kgf) の力で閉じれるように、調整ナットの締め具合を調整してください。
- ④ シートポストが十分に固定しなかったり途中でレバーが固くて閉じれないときは、もう一度調整ナットの締め具合を調整しなおしてください。



タイヤへの空気補充のしかた

種 類	バルブの種類	ポンプ(口金)の種類	空気の入れかた
英 式	 キャップ プランジャ	 口金	プランジャにポンプの口金を取り付けて空気を入れ、空気圧を確認する。

空気圧

⚠ 注意： 空気圧が少ないと、タイヤの接地面積が広くなって走行抵抗が増し、ベタリングが重くなります。また、タイヤの摩耗やパンク、リムの変形の原因になります。
必ずタイヤに表示している空気圧の範囲内で使用してください。

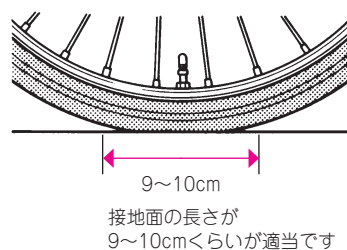
〈タイヤ空気圧表示例と換算値〉

1KPa=0.01kgf/cm²=0.145PSI

Bar	KPa	kgf/cm ²	PSI
2.5	250	2.5	35
2.8	280	2.8	40
2.5-3.5	250-350	2.5-3.5	35-50

《空気圧の簡易測定のしかた》

一輪車に乗車した状態での接地面の長さで空気圧を判定してください。



お手入れと保管

お手入れのしかた

乾いた布やブラシでホコリや汚れをよく落としてからお手入れしてください。汚れがひどいときは水洗いしてよく乾かしてください。

- 塗装部は、「ワックス」でみがいてください。

⚠ 注意：絶対にタイヤにワックスをつけないでください。タイヤにひび割れが生じます。

- メッキ・ステンレス部は、「サビ止め油」や「機械油」を少しふくませた布でふいてください。
- 海岸、湿気の多いところ、工場地帯、便所や浄化槽の近くなどサビやすいところにおくときは、お手入れの回数を多くしてください。

保管するときは

- 一輪車は倒れやすいので置き方を工夫してください。
- 雨のかからない乾燥した場所に保管してください。屋外に保管される場合にはサイクルカバーやビニールシートを使用してください。風雨にさらされますと、錆びや劣化が早くなります。（但し、長期間、屋外でカバーやシートをかけたままにしておくと、湿気がたまる場合があります）
- 長期間一輪車を放置すると、タイヤの空気が抜けて、つぶれくせがつく場合がありますので、タイヤに空気を入れて保管することをおすすめします。

その他

修理について

一輪車が故障した場合は、**お買い上げの販売店**に修理を依頼してください。

- 修理が保証の対象になるかどうか（無償修理か有料修理か）は品質保証書の内容に基づき、お買い上げの販売店で**一輪車と品質保証書**を確認の上、判断させていただきます。
- **インターネット**や**通信販売**でお買い上げの場合は、それぞれの**販売元**へお問い合わせください。
- 弊社での出張修理やお客様への補修部品の直接販売は行っておりません。

タイヤ・チューブについて

- タイヤを交換する時は、タイヤまたはリムに表示された規格のものを使用してください。
- 同じインチサイズでもWOタイヤ（例：24×1³/₈WO）とHEタイヤ（例：24×1.75HE）は互換性がないのでご注意ください。

廃棄について

- 一輪車を廃棄するときは、各地区のゴミ分別や回収のルールに従ってください。

「車体No」刻印位置、および「車種表示シール(商品コード、略号)」貼付け位置の例

- 「車体No」および「車種表示(商品コード、略号)」位置の例を示します。商品によっては下図以外の位置に表示している場合があります。



乗りかた

アンケートに答えると一輪車の乗りかたビデオがご覧になれます。
詳しくはブリヂストンサイクルのホームページ(<http://www.bscycle.co.jp/>)へ



でこぼこのない場所で

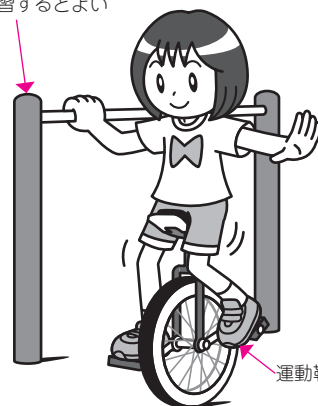
よく整備された校庭や公園で練習をしてください。
なれるまでは、支えとなるフェンスや手すりなど
のある場所で練習してください。

⚠ 注意：一輪車は、公道で乗らないでください。

動きやすい服装で

運動量の多いスポーツですので、動きやすさをポイントに選んでください。半ズボンに半ソデシャツそして運動靴というスタイルが一般的です。もし、長ズボンで乗る場合は、スノが車輪に巻き込まれないように、スノをズボンクリップなどでとめてください。

最初は鉄棒などにつかまって練習するとよい



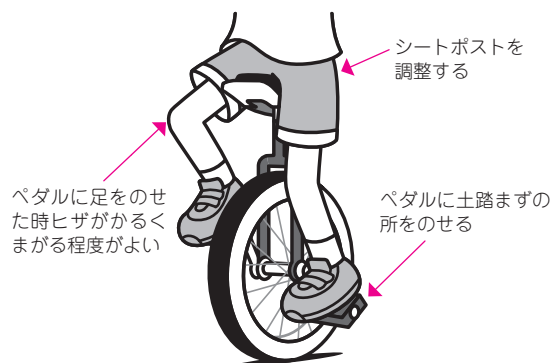
長ズボンの場合
ズボンクリップでとめる



ムリのない乗車姿勢を…

早く上達するためにも、正しい乗車姿勢で乗るようにしてください。

- サドルの高さと方向を調整します。保護者の方が行ってください。
- ① 左右どちらかのペダルを一番下までおろします。
- ② サドルにまたがり足(土踏まず部)を一番下までおろしたペダルに乗せます。
- ③ ヒザが軽く曲がる位置にセットします。
シートピンを緩めサドルの上下を行いシートピンを締め付け固定します。この時サドルの方向に注意してください。(サドルの調整のしかた ■ P.9)



練習1 乗車と降車

- 1、車輪後部に歯止めをあてがい、車体の後方に立ちます。(図1)
- 2、利き足側のペダルが最下点よりやや後方、手前になるように車輪を回します。(図1)
- 3、サドルを手前に傾けて、股に挟みます。(図1)
- 4、補助者の手を借り(手すりを使い)、そのまま利き足側のペダルに利き足を乗せて踏み込みます。(図2)
- 5、もう一方の足を後ろからペダルをまたぎ越すようにし、その足を前方に降ろします。(図2、3)
着地すると同時に空いている方の手でサドルの後ろをつかみましょう。

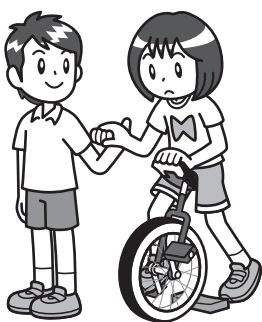


図1
最下点よりやや後方手前のペダル
を利き足で踏みこむ

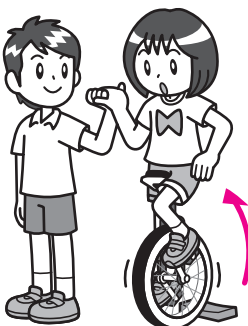


図2
一方の足はペダルをまたぎ越す

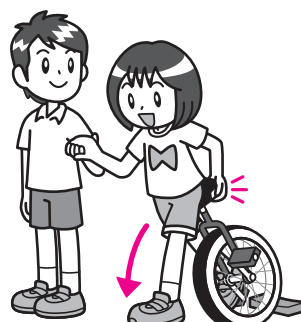


図3
着地すると同時にサドルの後ろを
つかむ

練習2 半回転前進

- 1、練習1の要領で一輪車に乗り、両足をペダルに乗せ、水平の位置で停止します。
- 2、補助者もしくは手すりをつかみながら、ペダルを半回転させ、もう一度水平にし、停止します。
- 3、2の動作を繰り返し、半回転ずつ停止しながら水平から水平へと前進します。

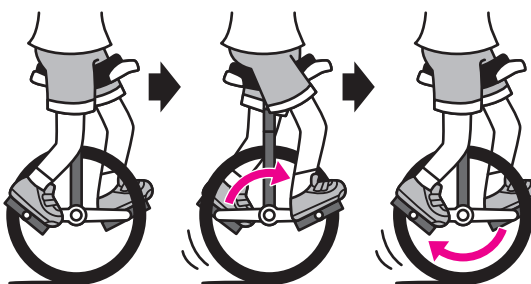


図4
ペダルを半回転ずつ停止しながら水平から水平へ前進

練習3 1回転／連続回転前進

- 1、練習2の要領で、1回転ずつ前進しながらペダルが水平の位置で停止するよう繰り返します。
- 2、慣れてくればスピードを速め、回転数を増やします。

練習4 手放し前進

- 1、 補助者の手を借りる時は一緒に走りながら前進し、バランスが整ったところで手を放します。(図5)
- 2、 手すりを使う場合は手すりを時々離しながら前進し、バランスが整ったところで手を放します。

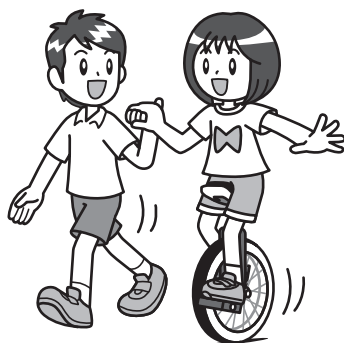


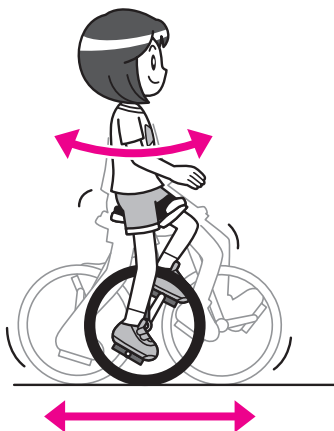
図5
補助者の手を借りる場合は一緒に走りながら前進する

練習5 アイドリング

「アイドリング」とは上体をほぼ一定の位置に保ちながら、ペダル半回転分を前後に送り戻し、車輪を振り子のように連続的に前後進させる操作です。

- 1、 利き足のペダルを下にし、上位置にくるもう一方のペダルを前後に振ります。

※頭は一定の位置に保ち、頭を基点にして車輪を前後に振りましょう。



練習のポイント

- サドルにはしっかり座りましょう。
- 一輪車の上でバランスをとる時は、背筋をぴんと伸ばしましょう。
- 視線をまっすぐ前にしましょう。下を向いていると腰がひけて悪い姿勢になりがちです。ペダルに足をかける時も、足元を見ないでできると良いでしょう。

点検・調整チェックリスト

安全確保のために、必ずお買い上げ店で定期点検・調整を受けてください。

L:異常なし A:調整・注油 △:修理 ×:取替 C:清掃・その他									
定期点検項目	初回 2ヶ月	2回目 6ヶ月	3回目 1年	4回目 2年	5回目 3年	6回目 4年	7回目 5年	8回目 6年	9回目 7年
車体の形状と取り付け									
サドルの位置と固定									
車軸の締め付け									
リムの振れ・スポークの張り									
タイヤの取り付け・摩耗・空気圧									
その他の取り付けと機能									
実施年月日	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・
実施者氏名	㊞	㊞	㊞	㊞	㊞	㊞	㊞	㊞	㊞

お 買 上 げ 日	年 月 日
お客様のお名前	
お客様のご住所	TEL
販売店名	
住 所	
T E L	㊞

商品コード	車名(略号)	色名

(公社) 日本一輪車協会

Japan Unicycle Association(JUA)

〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-10-1 TEL (03) 6458-8131

◎本会の目的と事業

日本一輪車協会は、体育・スポーツ並びにレクリエーションとしての一輪車の普及及び振興を図り、もって国民の体力の向上と心身の健全な発達に寄与することを目的とし、次の事業を行っています。

その業務は、

- (1) 一輪車の普及及び指導
- (2) 一輪車の競技会の開催
- (3) 一輪車に関する競技規則の制定
- (4) 一輪車の指導者の養成
- (5) 一輪車の技術認定
- (6) 一輪車に関する機関紙及び図書等の制作刊行
- (7) 一輪車に関する調査・研究
- (8) 一輪車に関する用具の認定
- (9) その他目的を達成するために必要な事業

会員(Member)

「会員」は、一輪車スポーツに関するあらゆる情報や連絡を受け、JUA主催の行事への参加など、下記の特典を受けることができます。

- 日本一輪車協会会報「JUA NEWS」(年4回発行)の送付
- 会員証の授受
- JUAが主催する大会その他行事の案内および参加資格
- 走行技術・構造、部品、アクセサリーなどの入手および相談。その他あらゆる情報の提供
- 技術認定基準にもとづいて、認定を受ける資格および認定証・認定バッジの授受
- 指導員認定証・認定バッジの授受

日本一輪車協会の会員になろう。

JUAでは、一輪車愛好者の祭典である年1回の「全日本一輪車競技大会」の開催をはじめ、「講習会・指導者講習会」「練習会」などの各種行事を行っています。

また全国各地支部主催の大会や練習会も行われており、こうした行事に参加することが技術の向上に役立っています。

一輪車は、ひとりでどこでも楽しめる良さもありますが、大勢の仲間とともに乗ると楽しさも倍増します。このような気軽に参加できる行事の予告は、「会員」に送付する「JUA NEWS」で案内しています。JUA NEWSには、そのほか大会や各種行事の結果報告、各地支部や会員から寄せられた便りの紹介などを掲載し、仲間づくりに役立っています。

■入会手続き

入会費 500円 年会費 2,000円 ※添付の会費納入用郵便振替用紙に記載事項明記のうえ、お申し込みください。(JUAホームページからお申し込みが可能です。) そのほか、家族会員・団体会員制度もあります。

ブリヂストンサイクル 品質保証書

お買求めいただきました商品は、厳重に検査され出荷されたものです。
当社の取扱説明書に従って通常に使用された状態で、不具合がございましたときは、本保証書の記載内容により無料修理（以下保証修理という）をいたします。保証修理は部品の交換または補修によって行ない、交換した不具合部品は当社の所有となります。

1. 記載事項

この車の商品コード、車名、販売年月日、保証期間、販売店名、保証修理実施店名及びお客様のお名前等必要事項記載欄は本手帳の裏面にありますが、お買上げ店で記入捺印することにより有効となります。なお本書は紛失されても再発行はいたしませんので大切に保管してください。

2. 保証期間

- (1) フレーム体：新車を販売した日から6ヵ月間を保証します。（但し5項に該当するものを除く）
- (2) フレーム体以外の全部品：新品時のみ

3. つぎに示すものの費用はお客さまの負担となります。

- (1) 保証対象外部品（フレーム体を除く全部品）の交換・修理。
- (2) 点検調整・清掃。

4. 保証修理を受けるための条件及び手続き

- (1) 保証をお受けになる場合は、商品と本保証書をお買上げ店へお持ちいただき保証修理をお申しつけください。本保証書を提示されないときは保証修理はお受けできません。又出張修理をお申しつけの際は出張費を頂く場合がありますので事前におたしかめください。

- (2) 本保証書は使用者が字句等を書換えた場合無効となります。
- (3) ご贈答、ご転居及び他に譲渡する場合についてはお買上げ店又は裏面の相談窓口にご相談ください。
- (4) この保証書は日本国内で使用されるものに適用されます。海外に持ち出す場合はその時点で打ち切りとなります
- This warranty is valid only in Japan.
- (5) お買上げ後2ヶ月目以内、6ヶ月目以内、12ヶ月目以内、その後は1年毎に定期点検調整をお受けください。この定期点検を受ける際には商品と品質保証書をお買上げ店へご提示ください。
- (6) 保証修理に関するお問合せはお買上げ店又は相談窓口にご相談ください。

5. 保証できない事項

次に示すものに起因する故障は保証修理の対象となりません。(使用者負担)

- (1) 使用者の使用上の不注意や取扱説明書に従わない使用、取り扱い及びいたずらによるもの。
- (2) 衝突、転倒、道路の縁石等により乗り上げ又は溝等に落ちて生じたもの。
- (3) 保守・整備の不備または故障した箇所を修理せず使用し続けたために生じたもの、およびこれによって生じた二次的故障や損傷。
- (4) 弊社が指定する定期点検調整を実施しなかったために生じたもの。
- (5) 使用者が構造・機能を改造又は変更および当社で設定した部品以外の部品を使用したため生じたもの。
- (6) 使用目的以外の酷使、走行(道のないどて傾斜面等)レース、ラリーにより生じたもの。
- (7) レンタサイクルなど不特定多数で使用される場合。
- (8) 地震、落雷、火災、水害、公害等人災、天災、地変によって生じたもの。
- (9) 手入れ不十分、保管場所の不備、時の経過、腐食劣化させる環境要因等により生じた塗装面、メッキ面のハクリ、サビ、その他これに類する不具合及びプラスチック部品等の自然退色。
- (10) 部品の通常の摩耗または疲労、およびこれによって生じた二次的故障や損傷。
- (11) クギ、ピン、ガラス、切削くず、鋭利な石コロ、空気圧不足等で生じたパンク。
- (12) 一般に機能上影響のない感覚的現象。(音、振動、油のにじみ等)
- (13) 本製品の故障に起因する付随的費用。(本製品を自転車店に持ち込むために要した費用等)
 - ・電話代、運送代、レンタカー代等の修理に付随する費用。
 - ・休業補償ならびに一輪車を使用できなかったことによる損害。

6. この保証書は本書に明示した期間条件に基づき保証修理をお約束するものです。従って、この保証書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

7. 保証期間経過後の修理等についてもご不明の場合はお買上げ店又は、相談窓口にご相談ください。

〒362-8520 埼玉県上尾市中妻3-1-1

ブリヂストンサイクル株式会社

電話 048-773-2221(代表)



修理や部品のご注文は、**お買い上げの販売店**へご相談ください。

ブリヂストンサイクル株式会社

〒362-8520 埼玉県上尾市中妻3丁目1-1

お客様相談室

受付時間：9:00～12:00／13:00～17:00

（土・日・祝日及び弊社指定休日は休み）

電 話：☎ 0120-72-1911、FAX：048-772-5316

（国際電話・インターネット電話でのご利用はできません）

IA01-352
7, E